



〈学校教育目標〉

し ば は ら

明るく さわやかな子の育成

令和7年11月28日 №477

さいたま市立芝原小学校

さいたま市緑区芝原2丁目5番地

TEL 873-4133 FAX 810-1123

Web <http://shibahara-e.saitama-city.ed.jp>

2学期のしめくくり

校長 砂庭 幸子

猛暑の続く8月末から始まった長い2学期。例年より暑い日が多くありましたが、今では秋を飛び越えて冬の気配が感じられるようになりました。今年はインフルエンザの流行も早く、学級閉鎖もありました。学校では引き続き手洗いやうがい、換気等の基本的な感染予防を徹底してまいります。御家庭でも予防を心掛けていただければ幸いです。

さて、11月6日に芝原小学校で学校課題研修の研究発表会が行われ、市内の各学校から多くの先生方が参観に来られました。芝原小学校では、令和6・7年度にさいたま市教育委員会より「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」の研究領域の委嘱を受け、研究主題及び副題「わかるできる喜びを味わい、自ら学びに向かう児童の育成～個別最適な学びを取り入れた授業改善～」を掲げ、2年間にわたり研究に取り組んできました。芝原小学校には、「算数が好きではない」と感じている児童が多い一方で、「算数は社会に役立つ」と認識している児童も多いという相反する意識が存在しています。そこで、自分に合った学び方や学習の場を選んだり、自分の考えがどこに着目したものなのかという「着目ポイント」を記入させたりするなど、さまざまな手立てを講じました。これにより、児童が「これを使えば算数の問題が解ける」という安心感をもち、「わかった」「できた」という経験を積み重ね、算数を学ぶ楽しさを実感できるように授業改善を行ってきました。

当日は、芝原小学校を代表して、2年4組、3年4組、5年4組の3クラスの算数の授業を公開しました。どのクラスでも、児童が主体的に学習に取り組み、さまざまな方法で課題を解決しようと一生懸命に課題に向き合う姿が見られました。市内の先生方から多くの褒めの言葉をいただきました。今後も引き続き研究を重ね、児童一人ひとりが「わかる」「できる」喜びを味わえる授業を実施してまいります。

12月(師走)になると学校ではいよいよ2学期の学習のまとめを行います。これまでに学習してきたこと振り返り、しっかりと定着させ、次の学びにつなげていきます。そのためにも、一人ひとりの学習状況をやり残しのないように丁寧に確認し、2学期のしめくくりをしていきます。そして、新しい年に、新たな目標に挑戦していってもらいたいと願っています。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様には1年を通じて学校運営に対して御理解・御協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。今後も芝原小学校にお力添えをいただきますよう、よろしくお願ひいたします。